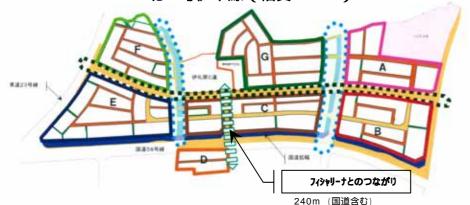
# フィシャリーナとのつながり

北2号伊平線(幅員19m)



## マスタープラン案イメージ

・フィッシャリーナとのつなぎは海を感じさせるヤシの並木道 その沿線におしゃれな店(ブティック、美容室、カフェなど)

# 現況写真



フィシャリーナから





#### 現 状

- ・街の入口となる重要な場所
- ・長さは100m余。幅員18m。
- ・街区の長さが短く交差点があるため停車帯がとれない。車道+路肩+歩道の断面構成。

## 課題及び提案

- ・海を感じさせる並木として、見通しが良く明るいヤエヤマヤシを植える。連続性を演出するため、3連で植える。
- ・フィッシャリーナとの連続性も考慮し、歩道部はベ-ジュからブラウン系レン ガ舗装が望ましい。
- ・地権者によるまちづくりグループの立ち上げが必要になる。
- ・同じ気持ち(感性)の地権者が集まって共同で敷地を活用することも魅力的。
- ・地権者と話し合いながら、セットバック、外壁の色、駐車場の取り方などの建 築施設の作り方を検討する必要がある。
- ・地権者の勉強会、事例視察も必要ではないか。
- ・協議会として、街のイメージを地権者に伝えて行くことが重要。
- ・この地区では小規模敷地については共同使用を促す必要がある。

# フィッシャリーナとのつなぎ部分の整備イメージ(案)

### ●海を感じさせる並木

- ・見通しが良く明るいヤエヤマヤシの並木
- ・3連で植えて、緑の連続性を演出



●まちづくりグループによる詳細計画の立案 ・地権者によるまちづくりグループを立ち上 げ、商業施設の作り方(セットバック、外壁 の色、駐車場の取り方等)を検討する必要が ある



イメージ写真

出典:新たな都市再生の展開-街なか再生海外事例研究 /アメリカ西海岸編(カリフォルニア州)、財団法人区 画整理促進機構、街なか再生全国支援センター、平成14 fe

●歩道の作り方

・ベージュからブラウン系のレンガ鋪装が望ましい